



就職支援希望アスリート「エントリーシート」

ふりがな	さきやま ゆうた	性別	生年月日・年齢	
氏名	崎山 雄太	男	1996年4月5日	
競技団体・種目	陸上競技・やり投		22 歳	
出身地	奈良県奈良市			
現住所	東京都世田谷区			
所属先	日本大学陸上競技部			
練習場所	日本大学世田谷グラウンド			
【選手プロフィール】				
年	月	学歴・職歴		
2015	3	関西創価高等学校 卒業		
2015	4	日本大学通信教育部 文理学部 文学専攻(国文学) 入学		
2016	4	日本大学文理学部体育学科 転籍		
2019	3	日本大学文理学部体育学科 卒業見込		

■免許・資格

高等学校一種教員免許状(保健体育) 取得見込

普通自動車運転免許 取得見込

■国内大会の主な戦歴

年	月	大会名	戦歴
2018	5	第97回関東学生陸上競技対校選手権大会	記録73m10 2位
2018	6	第102回日本陸上競技選手権大会	記録73m81 5位
2018	9	第87回日本学生陸上競技選手権大会	記録73m99 2位
2018	10	第73回国民体育大会	記録73m33 5位

■自己PR(競技で培った能力や経験を通じて企業に貢献できる内容など)

私は、高校時代まではインターハイに出るのが精いっぱい、無名選手でした。しかしながら、大学1年生の時に自己ベストを13m以上伸ばし、当時目標としていた「同世代のトップに追いつくこと」を達成することができました。今年自己ベストを更新し、日本選手権でも5位に入賞しました。

飛躍的に記録が伸びた理由は2つあります。1つ目は大学陸上界の投擲強豪校である日本大学に進んだことです。高校時代は投擲専門のコーチがおらず、自分自身で日本と海外のトップ選手の投擲の動画を見て研究していました。大学に入学し、様々なところへ合宿に向かい、専門的なやり投げのトレーニングを学んで自身の練習に取り入れ、実践し、技術練習を集中的に行ったことで成果として表れたのだと感じています。

2つ目は、スポーツ栄養学を専攻し、投擲のパフォーマンス向上において食生活に必要なことを積極的に研究しました。例えば、体づくりのために高たんぱく、高脂質の食品を食事メニューに取り入れるなどして、投擲選手にとって重要なウエイトをしっかりとコントロールし続けることができました。

私は負けず嫌いな性格のため、やる気が先行しすぎて、オーバートレーニングとなり、ケガをした時期もありましたが、腐らず、地道に今できるトレーニングを行ったことで、復帰を果たすことができました。その経験を通して、我慢強さが身に付いたと思います。

私はやり投げを始めたのが、高校2年からと遅かったこともあり、その分まだ伸びしろは人一倍あると思っています。全国規模の大会で安定した記録と順位を残せるようになりました。世界レベルで戦え、日本代表となるための最低限の目安である80m越えも現実的な目標となりました。

私が所属する日本大学陸上競技部は、関東インカレ、全日本インカレで、男子総合7連覇を果たしているチームです。その中で私は投擲ブロックのパート長を1年間務めました。日常の練習ではトレーニング計画の立案から後輩の指導などを行ってきました。結果、関東学生陸上競技対校選手権大会と全日本学生陸上競技対校選手権大会での総合7連覇に貢献することができました。また、チーム合宿を行う際、練習場所の手配や宿舎などでの生活指導など合宿運営も対応しました。

投擲種目の中でも、日本のやり投げは世界選手権やオリンピックに日本代表を毎回複数名派遣しています。私も何としても東京オリンピックに出たいと思っています。そのためには、私の武器である並外れた跳躍力を、やりを投げる直前の助走に活かして投げ切り、独自の技術を徹底して磨こうと考えています。

競技を通して身に着けた探求心や我慢強さ、ブロックのパート長で経験したリーダーシップを職場でも発揮して、任された仕事は誠実にやり遂げます。仕事でも競技でも企業の皆様にとって、刺激的な存在となれるよう努力していきたいと思っています。東京オリンピック、またその先の世界大会やオリンピックにも必ず出場して、企業の皆様から応援したい、応援して良かったと思われる選手になれるよう精進いたします。

【支援先企業への情報】

就職希望条件	
①職種・仕事内容	どのような職種でも一生懸命取り組ませていただけます。
②勤務地	日本大学世田谷グラウンドを練習拠点に、東京都内での勤務を希望しています。
③勤務日数	可能であれば、平日の午前勤務を希望いたします。(合宿や遠征、試合前などを考慮していただけると幸いです。)